



# グループ通信

発行／ふれディアグループ本部 編集部  
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4  
朝霞台駅前ビル8F 

全国相談窓口 ☎ 0120-116-017

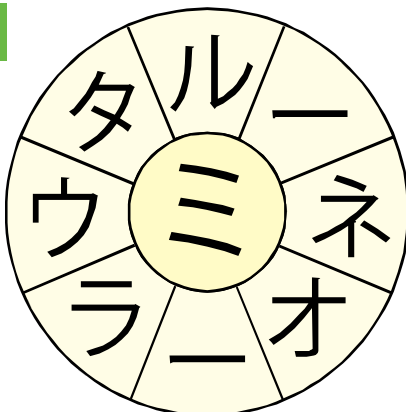
こんにちは、ふれディア通信編集部です。 ちょっぴり秋めいてきた今日この頃。 空気も澄み、心と夜空の星や月を見上げたくなりますよね。 今年の中秋の名月は9月29日(金)です。 中秋の名月は満月とは限りませんが、今年はずっと満月。 まんまるのお月さまを愛でることができるよう、ぜひ晴れてくれたらいいですね。 今回は、そんな地球にいちばん近くて身近な天体「月」のお話をしたいと思います。 日本で最も古い物語「竹取物語」は月のお姫様のお話。 子どもの頃からなじみのある昔話ですよね。 後半の月からの迎えがくるシーンは、「満月を十合わせたような」明るさと記されています。 今と違って夜は暗闇ですから、その明るさは相当のもの。 月の神秘さが際立ちます。 「月には何か不思議な力がある…」と、昔の人はそんな風に考えたのかもしれませんが。 時は移って戦国時代。 伊達政宗といえば、三日月のモチーフの兜が有名ですよね。 兜の全面の前立て(飾り部分)は、戦場で威厳を示したり、自らの信念を表すために取り付けたものだろう。 三日月型の前立ては洗練されていて、武将の兜の中でも人気は群を抜いています。 政宗の辞世の句は「曇りなき心の月を先立てて浮世の闇を照らしてぞ行く」というものでした。 「曇りない夜の月のような心を持って、月のようにこの世の闇を照らしながら行くのだ」というような意味だそうです。 シャープな三日月型の前立てと、戦乱の時代に身を置いた武将の心が響きあっているようで心に残りますね。 最後は、月面着陸のお話です。 アメリカが1969年に打ち上げたアポロ11号は7月20日、史上初めて人類による月面着陸に成功。 船長のニール・アームストロングさんは「これはひとりの人間にとっては小さな一歩にすぎないが、人類にとっては偉大な飛躍である」という有名な言葉を残しています。 そして、アポロ11号に続けとばかり翌年打ち上げられたアポロ13号でしたが、そこには予想だにしない展開が待ち受けていました。 発射から約56時間後、エンジンや燃料を積んだ酸素タンクが爆発。 酸素も水も電気もギリギリの中、アポロ13号は地球への生還を目指します。 この実話をもとに制作されたのが、トム・ハンクスさん主演の映画「アポロ13号」。 とても見ごたえのある映画ですので、秋の夜長にじっくりと鑑賞してみたいはいかがでしょう。 ふれディア通信編集部

## “脳トレーニング”で脳年齢を若く・脳を活性化!

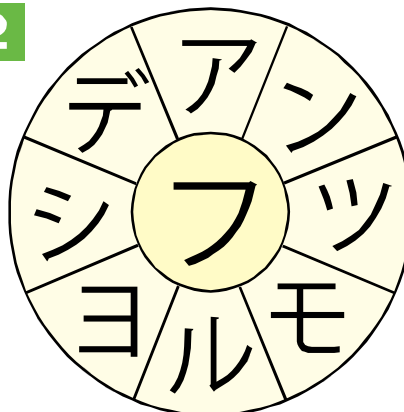
カタカナを並べてできる言葉は何でしょう?

問1・問2のルーレットでは、言葉の頭が中央に、それに続く言葉が周囲にランダムに並んでいます。 並べ替えてできた言葉は何でしょう?

問1



問2



“解答”は他のページに載っています。 答えがわかるまでじっくり考えることが脳の活性化につながります!